

平成18年度秋の叙勲 晴れの叙勲おめでとうございます

消防功勞で瑞宝単光章 小野 助則さん(74歳)



昭和29年に名寄消防団に入団、以来44年間にわたり尽力されました。

昭和61年には名寄消防団副団長に就任。長く続けることができたのは、先輩や同僚、家族の理解があっこそ。70年以上住み続けた地域の力になることを願って活動を続けることができましたとのことでした。

更生保護功勞で瑞宝双光章 野津 眞喜子さん(70歳)



昭和53年に保護司(旭川保護観察所)となり、以来28年間にわたり尽力されました。

権擁護委員や民事家事調停委員、社会教育委員など数多くの公職歴も。

罪を犯した人たちの更生のために親身な対応を続けていて、今後も経験を生かして少しでも役立ちたいとのことでした。



10/29 名寄バイパス完成見学会 バイパスの役割を学ぶ

北海道開発局旭川開発建設部主催の名寄バイパス完成見学会が、同バイパスなどで行われ、市民など約60人が参加しました。

これは、同バイパス3工区(智恵文南入口~智恵文インターチェンジ)の開通(11月25日に供用開始)を記念したイベントの一環で行われたものです。

参加者は、まず名寄北管理ステーションで、作業車や除雪などを見学したり、施設内でバイパスに設置している道路を管理する機器の説明などを受けました。その後、参加者は、バスで3工区間へ移動し、紅葉を楽しみながら完成したばかりの道路を歩いて見学しました。

11/11 税の書道展表彰式

平成18年度小学生による名寄市「税の書道展」の表彰式が、市民文化センターにて行われました。

同展は、市内の小学校高学年を対象に、税に関心を持ってもらうことを目的として、市納税貯蓄組合（今藤正美会長）と市が、毎年実施しています。作品の題字は「税金」「納税」で、各小学校から244点の応募がありました。会長賞には、菊地美帆さん（風連中央小6年）、市長賞には、飯塚花さん（名寄小6年）、金・銀・銅賞、佳作には26人が選ばれ、賞状や記念品が贈られました。



会長賞を受賞した菊地さん



市長賞を受賞した飯塚さん

平成18年度秋の褒章 受賞おめでとうございます

消防功績で藍綬褒章 長谷川 米茂さん(77歳)



昭和36年に名寄消防団の団員となり、市民の生命と財産を守るために尽力されました。

平成11年から名寄消防団の団長に就任。これまで支えていただいた皆さんのために役に立てることがあれば精いっぱい取り組みたいとのことでした。

11/19 市民劇場2006「風連物語」 熱い歓声があがる

風連名寄合併記念名寄市民劇場2006「風連物語」が、市民会館で上演されました。

名寄市民劇場は、平成12年の名寄市開拓100年記念野外劇「ピヤシリ賛歌」公演を機に名寄の歴史を題材にした市民劇を継続しています。今年は、前風連町長の柿川弘さんの回想録「フーレベツ川とともに」を原作に、市立名寄大学名誉教授の松岡義和さんが脚本と演出を担当。吹雪の結婚式を描いた一幕のクライマックスでは馬そりが登場し、満員の市民会館が歓声に包まれました。

